［参考事項］

成果情報名：秋田県におけるアスパラガス褐斑病の発生

研究機関名　農業試験場　生産環境部　病害虫担当
担　当　者　齋藤隆明・藤井直哉　他１名

［要約］

県内のアスパラガスハウス半促成栽培圃場でアスパラガス褐斑病の発生を初確認した。

［キーワード］

アスパラガス・アスパラガス褐斑病

［普及対象範囲］

県内全域

［ねらい］

2019年９月に県内のアスパラガスハウス半促成栽培圃場でアスパラガス株上部の側枝及び擬葉が黄化・枯死する症状が発生した。この病原を特定し、防除対策を立てるとともに指導の資料とする。

［成果の内容及び特徴］

１　病斑部から得た分離菌を遺伝子診断した結果、アスパラガス褐斑病（*Cercospora asparagi Saccardo.*）と同定され、秋田県では本病の発生を初めて確認した。

２　アスパラガス褐斑病はアスパラガス株の上位が黄化・枯死し、発生圃場では高温による生理障害が一見疑われるが、本症状を目視すると図１ｂのような病斑を確認することができる。アスパラガス斑点病の病徴と酷似しているが、病斑の中央部に黒い小粒点を形成する場合が多い（図１、２）。

３　アスパラガス褐斑病は施設圃場で確認され、本病が確認された圃場に隣接している露地圃場では確認されなかった。

［成果の活用上の留意点］

１　アスパラガス褐斑病菌の同定は、国立研究開発方法人農業・食品産業技術総合研究機構　九州沖縄農業研究センターに依頼した。

２　アスパラガスのみを加害し、特に施設圃場で発生しやすい。

３　本病に対する防除対策は令和元年度農作物病害虫発生予察情報特殊報第２号(2020年１月28日発行)を参照する。

［具体的なデータ等］

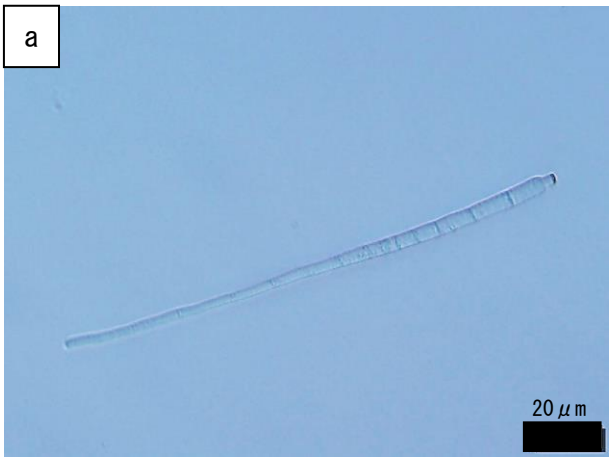
（アスパラガス褐斑病による茎葉部の上位の黄化・枯死）

（アスパラガス褐斑病の病斑）

（アスパラガス斑点病による茎葉部の黄化・枯死）

（アスパラガス斑点病の病斑）

図１　アスパラガス褐斑病と斑点病の発生圃場及び病徴（一例）
a、b：アスパラガス褐斑病発生圃場と病徴
c、d：（参考）アスパラガス斑点病発生圃場と病徴



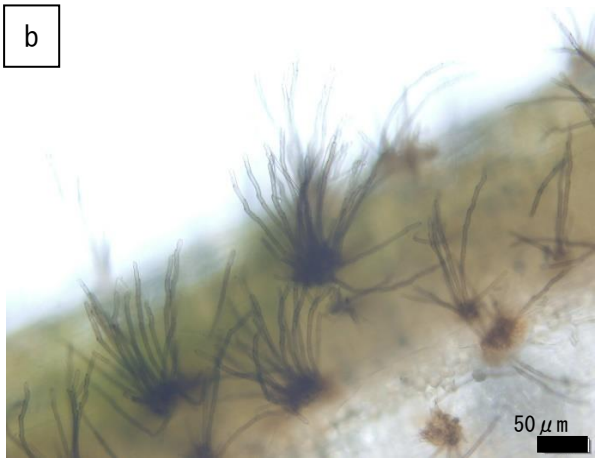


図２　アスパラガス褐斑病菌の(a)分生子及び(b)擬葉上に形成された分生子柄

［その他］

研究課題名：新たに発生が確認されたアスパラガスの病害
研 究 期 間：令和元年度
予 算 区 分：県単
掲 載 誌 等：令和元年度農作物病害虫発生予察情報特殊報第２号(2020年１月28日)